事業番号

0438

平成24							年行政事業レビューシート (文章			(部科学省)			
事業名 文化政策企画立案				担当部局庁			文化庁		作成責任者				
	開始 • F定)年度	昭和42年度			担当記	果室	長官	官房政策課	政策	策課長 山﨑 秀保			
会記	計区分		一般会	+		施策	施策名 XⅢ-4 文化芸術:			興のための基盤の充実			
(具	処法令 体的な も記載)	文化芸術振興基本法 第7条				関係する 通知	等	(平成23年2月	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		文化芸術振興基本法に基づく「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)」(平成23年2月8日閣議決定)を踏まえ、我が国の文化芸術の総合的な振興を図るための施策の企画・立案に当たり、文化行政に関する各種データや資料の収集、調査研究等を行う。											
(5行	業概要 行程度以 別添可)	第3次基本方針の策定を受けて、同基本方針の下にあり得べき施策の企画・立案に向け、文化政策の評価手法に関する調査研究事業をシンクタンクに委託することにより実施した。											
実施	施方法	□直接実	□直接実施 ■委託·請負 □補助		□ 負担		口交付	□ 貸付	□貸付 □その		の他 		
			21年度			22年度		23年度	24年	24年度		25年度要求	
		当初予算		11		12		11	28	28		46	
2.4	ir de		正予算	_		_		_	_	-			
執	車額・ 片額	状 繰	越し等	=		-		_	-				
(単位	:百万円)	計 計		11	12			11	28	28		46	
		執行額		9	9			8					
		執行率(%)		83.1%		74.6%		69.4%					
		成果指標					単位	21年度	22年度	23年	度	目標値 (年度)	
		定量的な成果目標は示せない。 (本事業は、基本方針を踏まえた施策の企画・ 立案に向けて、年度ごとに時宜に応じた調査研 究等を行うものであるため。) 【定性的目標】 第3次基本方針の重点戦略に係るPDCAサイク ルの確立に資する。				成果実績 達成度	%						
		活動指標				単位	21年度	22年度	23年	度	24年度活動見込		
活動	指標及び 助実績 トプット)	基本方針を踏まえた施策の企画・立案のために 行う調査研究等事業の本数				(当初見込	本	2	2	1		_	
					み)			(2)	(2)		(3)		
単位当たり コスト		7.1(百万円/本)				算出根拠 予算枠を前提として調査研究等事業の設計を行っており、単位当たりのコストを算出する意義は乏しい。							
	費	費 目	24年度当初予	25年度要求	ζ			Í	上な増減理由				
平成	諸謝金		0.2 百万円	0.3 百万日	"								
2 4	職員旅費		1 百万円	1 百万	7								
	委員等旅費		1 百万円	1 百万日	ŋ								
	文化芸術振興委託費		25 百万円	43 百万日	円 訴	調査研究委託件数の増要求によるもの							
5年度予算内													
内訳		=1	00 777	1 40							しない		
	計 28 百万円			3 46 百万日	۱ ۲	シャン・サインを はっちょう はっちょう はっちゃく はっちょう はんない							

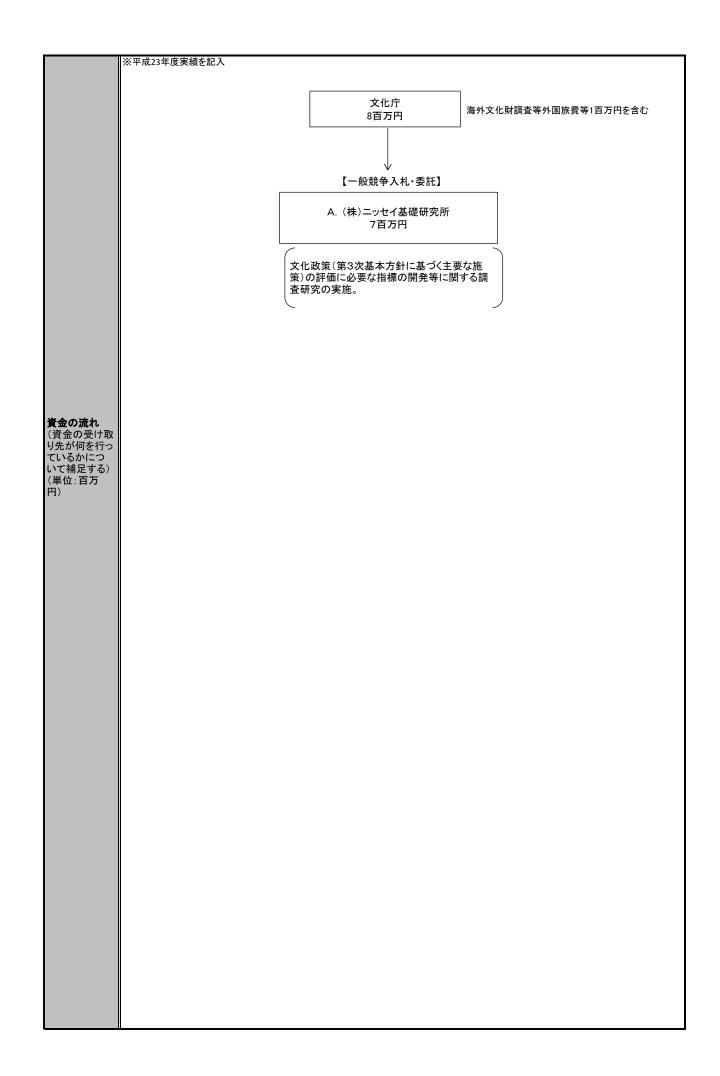
目的・予算の資金の流れ、費目・活動実績、成果実績 点検結 小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	項 目 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 受益者との負担関係は妥当であるか。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	評価に関する説明 本事業は、「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)」(平成23年2月8日閣議決定)を踏まえた施策の企画・立案のために必要な調査研究を行うものであり、国が実施すべき事業である。 不用率が大きい主な要因は、入札差額によるものである。 総合評価落札方式による委託先の選定を行うことで競争性を確保している。支出費目については、委託実施要項に定め、事業実施に必要なものに限定するよう努めている。 年度ごとに時宜に応じた調査研究等を実施し、政策の企画・立案に活用している。						
状況 使途 活動実績、成果実績 点検的・予算の資金の流れ、費目・ 活動実績、成果実績 本	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 受益者との負担関係は妥当であるか。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	3次基本方針)」(平成23年2月8日閣議決定)を踏まえた施策の企画・立案のために必要な調査研究を行うものであり、国が実施すべき事業である。 不用率が大きい主な要因は、入札差額によるものである。 総合評価落札方式による委託先の選定を行うことで競争性を確保している。支出費目については、委託実施要項に定め、事業実施に必要なものに限定するよう努めている。						
状況 使途 活動実績、成果実績 点検・予算の 資金の流れ、費目・ 活動実績、成果実績 本	0 0 0 0 0	となっていないか。 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 受益者との負担関係は妥当であるか。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	施策の企画・立案のために必要な調査研究を行うものであり、国が実施すべき事業である。 不用率が大きい主な要因は、入札差額によるものである。 総合評価落札方式による委託先の選定を行うことで競争性を確保している。支出費目については、委託実施要項に定め、事業実施に必要なものに限定するよう努めている。						
の 資金の流れ、費目・ 活動実績、成果実績 点検	O O O O O O O O O - O	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 受益者との負担関係は妥当であるか。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	る。 総合評価落札方式による委託先の選定を行うことで競争性を確保している。支出費目については、委託実施要項に定め、事業実施に必要なものに限定するよう努めている。 年度ごとに時宜に応じた調査研究等を実施し、政策の企						
使途 活動実績、成果実績 点検	- - - 0 - - 0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 受益者との負担関係は妥当であるか。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	争性を確保している。支出費目については、委託実施要項に定め、事業実施に必要なものに限定するよう努めている。						
使途 活動実績、成果実績 点検	- O - - O	受益者との負担関係は妥当であるか。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	争性を確保している。支出費目については、委託実施要項に定め、事業実施に必要なものに限定するよう努めている。						
透 活動実績、成果実績	- 0 - - 0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	争性を確保している。支出費目については、委託実施要項に定め、事業実施に必要なものに限定するよう努めている。						
費目・ 活動実績、成果実績	O O	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	いる。 - 年度ごとに時宜に応じた調査研究等を実施し、政策の企						
活動実績、成果実績	- - 0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名							
動実績、成果実績 「点検本	- O -	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名							
動実績、成果実績 「点検本	O -	活動実績は見込みに見合ったものであるか。 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名							
粮 、成果実績 「	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名							
果実績		なっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名							
実績 点検 本		※類似事業名とその所管部局・府省名							
点検本	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。							
検 本									
	i	予算監視・効率化チームの所見	l .						
一部改善	執 2. 予	1. 事業評価の観点:本事業は、文化政策の状況に応じテーマを設定の上、調査研究を委託する事業等により構成されており、予算 執行状況の観点から検証を行った。 2. 所 見:所掌する行政事務を推進するために必要な経費であるが、恒常的に予算に不用が生じている。平成24年度当初 予算で既定予算の縮減を図るなど一定の見直しを実施しているところであるが、平成24年度新規テーマの進捗状況等を踏まえつ つ、平成25年度概算要求においても積算単価を再検証するなど引き続きコスト削減に努めるべきである。							
	- 1	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	2 算要求における反映状況等)						
縮	車	「業の実施に当たり、計画的な調査研究の実施に努める他、予算執行状	沢を跡まえ 文化行政調査研究の報告事作成費の積管						
減		等を見直し、概算要求に▲1百万円反映した。							
-		補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)							
文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html									
関連する過去のレビューシートの事業番号									

平成23年行政事業レビュー

0415

0491

平成22年行政事業レビュー



		A.(株)ニッセイ基礎研究所					
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)	
	人件費	事業の実施に関するもの。	5				
	その他	諸謝金、雜役務費、旅費等	2				
	一般管理費		1				
費目・使途 (「資金の流							
れ」においてブ ロックごとに最							
大の金額が支出されている							
者について記							
載する。費目と 使途の双方で	計	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上 げと合計は一致しない	7	計		0	
実情が分かる ように記載)							
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

Α.					
	支 出 先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ニッセイ基礎研究所	文化政策(第3次基本方針に基づく主要な施策)の評価に必要な指標の開発等に関する調査研究の実施。	7	4	100%